

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Passoくらぶ				公表日	令和 8 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		カリキュラム・イベントに合わせて配置を考えている。	人員基準で必要とされる職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差をなくしコードなど配線は床下になるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			生活空間の清掃や整理整頓を行い、こどもが心地よく過ごせる環境づくりに努めています。また、活動内容に合わせた空間づくりを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの状況に応じて、個別で過ごせる場所や落ち着けるスペースを活用できるよう配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や児童帰宅後に時間を設け、業務改善などの話し合いをしております。	定期的な通信の発行やお知らせを通して、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者へお伝えしています。今後分かりやすい情報発信に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		無記名のアンケートを実施しており、多くの意見をいただくようにしています。	保護者様からのアンケートをもとに、業務改善等に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			会議や日々の情報共有の中で職員の意見を把握する機会を設け、その内容を業務改善に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、利用者様と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修、定期的なオンラインセミナーを受講し、職員で情報共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			こどもの状況や事業所の支援内容を踏まえて支援プログラムを作成し、保護者へお知らせしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		状況・特性に応じて、個別と集団活動を組み合わせて作成しております。	利用者について理解を深め、保護者のニーズを把握し、活動を組み合わせていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画の作成時には、児童発達支援管理責任者を中心に、関わる職員で児童の様子や課題について共有しながら検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容について職員間で情報共有を行い、日々の支援の中で計画に沿った関わりができるよう取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常の行動観察によるインフォーマルなアセスメントを行いながら、こどもの適応行動の状況を確認しています。必要に応じてアセスメントの結果を支援に反映しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえながら、こどもに必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を検討しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは1か月前に作成し活動内容はチームで考案しています。	活動プログラムは、ニーズや課題をチームで話し合い立案しています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に行うプログラムは、利用者の成長や習熟度に応じて少しずつルール等を変更している。	興味やニーズを把握しプログラムのバリエーションを増やしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況・特性に応じて、個別と集団活動を組み合わせ作成しております。	利用者について理解を深め、保護者のニーズを把握し、活動を組み合わせていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時スケジュール確認、打合せを行い、情報共有し、出勤が午後からの職員には個別に確認することで共有している。	毎日時間を設け、支援内容やプログラムの確認をしています。またお子様の状況なども共有し、全スタッフが把握したうえで支援提供しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時に振り返りを行い、情報共有しています。	今後も終礼時に振り返りを行い、情報共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ヒアリングシートを活用し、記録を残しております。	漏れないよう記録を残し、職員で共有して支援の改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っています。	現状や保護者さまからの要望等を鑑み、見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの内容を踏まえた上で、それぞれの児童に応じた支援内容を設定している。	引き続きガイドラインに沿って支援していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		一人ひとりの発達段階に応じて、選択できる場面を設けています。視覚的な提示やわかりやすい説明を行いながら、自分で考え決める経験を積み重ねられるよう支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況を日頃から把握している職員が参加し、日々の様子や支援状況を共有できるようにしています。	全職員が同じ情報を共有し支援にあたっています。担当者会議も指導員が参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			主治医や関係機関、学校等と情報共有を行いながら、連携して支援を行う体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			学校と定期的に情報共有を行い、行事予定や下校時刻の確認を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			現在は直接的な関わりは多くありませんが、必要に応じて関係機関との情報共有ができるよう努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			相談支援事業所や福祉サービス事業所と連携し、利用中の状況やこれまでの支援内容の提供を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現時点では関わる機会は多くありませんが、必要に応じて相談や情報共有ができるよう努めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現時点では実施していませんが、今後の活動の中で検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			現在は積極的な参加には至っていませんが、情報収集や連携の機会として参加を検討しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の様子や活動での気づきを保護者へお伝えし、ご家庭での様子も伺いながら、児童の発達状況や課題について共通理解を深められるよう心がけています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在、保護者会は開催しておりません。	保護者向けのセミナーを開催した際に、併せて保護者交流会を開催しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約書・重要事項説明書・利用計画書、を用いご説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時には、児童本人や保護者の思いや希望を伺う機会を設けています。意思の尊重と児童の最善の利益を踏まえながら、支援内容を検討しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			計画作成後、保護者へ放課後等デイサービス計画を提示し、支援内容について説明する機会を設けています。内容を確認していただいたうえで同意を得ています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの子育てに関する相談については、随時対応し、必要に応じて面談を行いながら助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現時点では実施していませんが、必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情対応の体制を整備し、保護者へ周知を行っています。苦情やご意見があった際には内容を確認し、迅速かつ適切に対応するよう心がけています。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的な通信の発行やお知らせを通して、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者へお伝えしています。今後も分かりやすい情報発信に努めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報については、書類やデータの管理に注意し、外部への情報提供の際にも十分配慮しながら対応しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			こどもの理解度や特性に応じて、言葉だけでなく視覚的な提示などを取り入れながら意思疎通を図っています。保護者へも分かりやすい情報提供に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			見学会を行い、事業所を見ていただく機会を設けております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを整備し、職員間で共有しています。また、発生を想定した訓練を実施し、対応の確認を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1度避難訓練を実施、定期的に防災関連のカリキュラムを行っています。	業務継続計画（BCP）を策定し、災害発生時に備えた体制づくりを行っています。また、避難訓練等を定期的にも実施し、対応の確認を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			事前に服薬状況や予防接種の状況、てんかん発作等の健康面について保護者から情報を確認し、職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童については、医師の指示書や保護者からの情報を確認し、職員間で共有したうえで適切に対応しています。	引き続き継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を整備し、職員への研修や訓練を行いながら、安全管理に配慮した支援を実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画に基づく取組内容について、保護者へお知らせしながら安全確保に向けた連携を図っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際は、記録に残し職員で共有し改善を行っています。	今後、危険な事例があった際に報告書を作成するようにしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		児童虐待防止研修と身体拘束の社内研修を年一回以上実施している他、社外研修にも参加後、その内容について職員にフィードバックしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			身体拘束は原則行わないことを基本とし、やむを得ない場合については組織的に検討しています。必要な場合には事前に保護者へ説明し、同意を得たうえで計画に記載しています。	